

鳥海発電所事業性評価調査事業

1. 実証事業の目的

国土交通省が建設を計画している鳥海ダムにおける発電事業の事業性評価を行う。

2. 実証事業の概要

(1) 事業者名

秋田県

(2) 事業名

鳥海発電所事業性評価調査事業

(3) 事業期間

平成29年 6月26日 ~ 平成30年 2月23日

(4) 設備概要

a. 発電形式 : ダム式

b. 使用水量 : 4.6m³/s

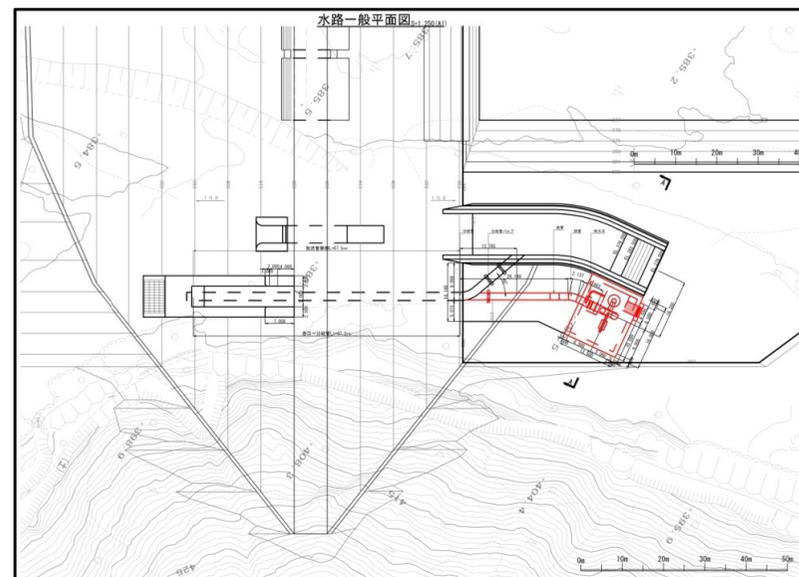
c. 有効落差 : 27.4m

d. 最大出力 : 990kW

※ a~dは、調査後の値。

4. 事業の成果等

ダム等の諸条件からフランシス水車を採用することとした。次に、最大使用水量の6ケースについて年間の発電電力量を算定し、比較検討の上、最適規模の水車・発電機を選定した。また、概略工事費と年維持管理費を算定し、経済性等の評価を行った結果、事業性のあることが確認できた。



3. 平成29年度の事業実施概要

① 基本事項の検討

② 主要構造物の概略設計

③ 水車・発電機を選定

④ 設計図の作成

⑤ 概略施工計画の検討

⑥ 概算工事費の算出

⑦ 経済性の評価

5. 全体スケジュール(実績)

○ 平成29年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業性評価												